MA1405-C © 2013 CASIO COMPUTER CO., LTD.

CASIO®

P

3417/3418P＊JA

GB-6900B/GB-X6900B

取扱説明書【時計機能編】

3417/3418

このたびは、本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

モバイルリンク機能について

本機は、Bluetooth® v4.0（以下、Bluetoothと略）に対応した携帯電話等と通信し、電話やメールの着信を電子音や振動、画面表示でお知らせする機能などを持っています（モバイルリンク機能）。

1. 本機は、各国、地域の電波法の適合または認証を取得しております。電波法の適合または認証を取得していないエリアでご使用になると罰せられることがあります。
   詳しくは、別紙「電波法の適合または認証を取得している国、地域について」をご覧ください。
2. 各国の航空法により、航空機内でのご使用は制限されています。航空会社の指示に従ってください。
3. モバイルリンク機能の操作説明および Q&A については、下記 Web サイトをご覧ください。
   カシオホームページ　http://casio.jp/wat/tech/BLE/

Bluetooth® は、Bluetooth SIG, Inc. USA の商標または登録商標です。

この時計の特長

この時計は、以下の機能を備えています。

◆携帯電話と通信できます

Bluetoothに対応した携帯電話と接続し、通信することができます。
詳しくは、Webサイト【モバイルリンク機能編】をご覧ください。

Webサイト

◆ワールドタイムがわかります

世界100都市の時刻を表示できます。

→ P.16

◆アラームを設定できます

設定した時刻になると、電子音や振動でお知らせします。

→ P.18

◆ストップウオッチとして使えます

1/100秒単位で1,000時間まで計測できます。

→ P.21

◆タイマーとして使えます

設定時間をカウントダウン計測し、残り時間が0になると電子音や振動でお知らせします。

→ P.22

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています（左の例は感電注意）。

⊘ 記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています（左の例は分解禁止）。

● 記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）。

⚠警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。

- 本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠警告

無線について

病院内や航空機内では、病院や航空会社の指示に従ってください。本機からの電磁波などが計器類に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
高精度な電子機器または微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、使用しないでください。電子機器が誤作動するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
ペースメーカーなどをご使用の方は、本機を胸部から離してご使用ください。ペースメーカーなどに磁力の影響を与えることがあります。万一異常を感じたら直ちに本機を体より離し、医師に相談してください。

⚠注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとさび易くなります。

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

① 金属・皮革に対するアレルギー
② 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗等
③ 体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

⚠注意

分解しないでください

本機を分解しないでください。けがをしたり、本機が故障する原因となることがあります。

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やけがの予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、バンドの中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬけがやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

⚠注意

ご使用にあたって

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のけがやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

時計本体（裏ぶたを含む）やバンドに製品保護シールが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがしてください。シールをはがさずにご使用になると、「時計本体やバンド」と「シール」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

オートライト作動時のご使用について

オートライト作動状態のとき、本機を腕につけて自動車などを運転すると、不用意にライトが点灯し、運転の妨げになり危険ですのでおやめください。交通事故の原因となることがあります。

目次

この時計の特長 .... 表紙裏面

安全上のご注意 1

本書について 9
- 本文中の記号について 9
- タップ機能について 9
- 操作部と画面表示について 10
- 液晶表示について 10
- 画面に表示されるマークについて 11

モードの種類と切り替え 12
- 各モードでできること 13

時刻を合わせる 14
- 手動で時刻を合わせる 14

ワールドタイム 16
- 他のタイムゾーンの時刻を見る 16
- サマータイム（DST）を設定する 17

アラーム・時報 18
- アラームモードを選ぶ 18
- アラーム時刻を設定する 19
- 電子音／振動を止める 20
- 電子音／振動を確認する（モニターアラーム）..... 20

ストップウオッチ 21
- ストップウオッチモードを選ぶ 21
- 計測する 21

タイマー 22
- タイマーモードを選ぶ 22
- 計測時間を設定する 22
- 計測する 23
- 電子音／振動を止める 23

ライト 24
- ライトを点灯させる 24
- 自動的に点灯させる（オートライト）.................. 24
- ライトの点灯時間を変更する 26

各種の設定 27
ボタン操作音の ON/OFF を切り替える.............. 27
アラーム／タイマーの報知方法を切り替える 28
電池の交換時期..................................29
製品仕様..30
ご使用上の注意..................................32
無線に関するご注意...........................35
お手入れについて..............................36
電池交換について..............................37
金属バンドの駒詰めについて...............37
都市名一覧表....................................38

本書について

本文中の記号について

重要：正しく使用するために必要な情報を記載しています。

参考：各機能や操作の説明に関する補足情報を記載しています。

：詳細の説明や関連する項目などの参照ページを案内しています。

タップ機能について

時計の画面の中心を指でたたくことをタップといいます。

例　アラームの電子音や振動を止めるときは 2 回タップします。

タップのやり方：
軽くノックするようにトントンとたたいてください(ダブルタップ)。

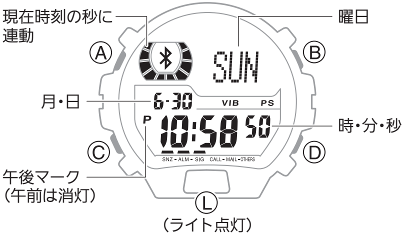
重要

- タップ機能は、時計表示上でタップマーク（TAP）点滅中のみ有効となります。
- タップマークは、アラーム／タイマーの報知を止めるときなど、タップ機能が有効な状態になると自動的に点滅します。

操作部と画面表示について

この時計の操作は、Ⓐ ～ Ⓓ ボタンおよび Ⓛ ボタンを使用します。また、各表示部は以下を表します。

モードの種類と切り替え…P.12



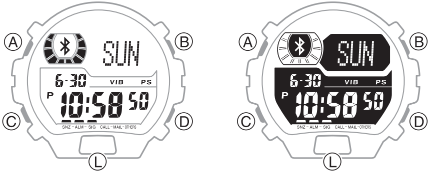
参考

- この取扱説明書では各ボタンの操作を説明するために、図に記載した名称を使用しています。
- この取扱説明書に記載しているイラストは、視認性を考慮して実際のものとは異なる描写をしているものがあります。ご了承ください。

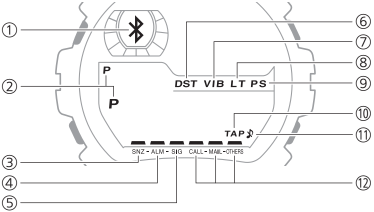
液晶表示について

製品によって、液晶表示のタイプが異なります。本書に記載しているイラストは、視認性を考慮して「白地に黒」で描写しております。

- 液晶表示のタイプは製品によって決まっているため、1 つの製品でタイプを切り替えることはできません。



画面に表示されるマークについて

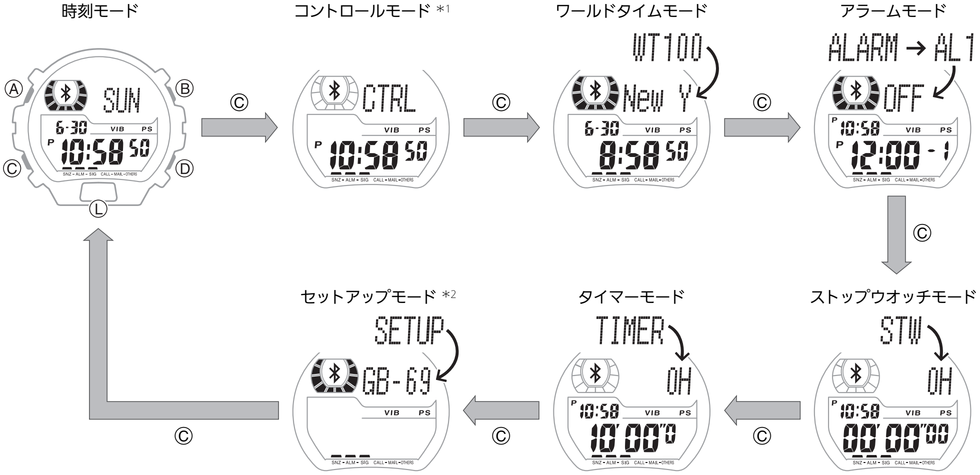


番号	名称	点灯(点滅)しているときは	参照ページ
①	Bluetooth マーク	モバイルリンク機能を使用できます	Webサイト*
②	午後マーク	時刻が 12 時間制表示の午後です	P.10
③	スヌーズマーク	スヌーズアラームが鳴ります	P.19
④	アラームマーク	アラームが鳴ります	P.19
⑤	時報マーク	時報が鳴ります	P.19
⑥	DST マーク	時刻が夏時間です	P.17
⑦	バイブマーク	アラーム／タイマーを振動でお知らせします	P.28
⑧	オートライトON マーク	自動でライトが点灯します	P.25
⑨	パワーセービングマーク	節電のためにモバイルリンク機能を制限します	Webサイト*
⑩	タップマーク	ダブルタップ操作ができます(点滅)	P.9
⑪	ミュートマーク	操作音が鳴りません	P.27
⑫	報知マーク	携帯電話への音声着信やメール着信などをお知らせします	Webサイト*

* Webサイト【モバイルリンク機能編】をご覧ください。

モードの種類と切り替え

Ⓒ ボタンを押すごとに以下のようにモードが切り替わります。



*1 コントロールモードについては、Webサイト【G-SHOCK+アプリケーション設定ガイド】をご覧ください。

*2 セットアップモードについては、Webサイト【モバイルリンク機能編】をご覧ください。

各モードでできること

モード	機能	参照ページ
時刻モード	• 時刻表示 • 時刻、日付、サマータイムの設定、12/24 時制表示切り替え • 手動による時刻修正 • アラーム／タイマーの報知方法の設定	P.12 P.14 P.28
コントロールモード	• 通信によるリモート操作と情報の入手（コントロール機能）	Web サイト
ワールドタイムモード	• 世界 100 都市（35 タイムゾーン）の時刻表示	P.16
アラームモード	• アラーム時刻と ON/OFF の設定 • 時報の ON/OFF 設定	P.18
ストップウオッチモード	• 経過時間の計測	P.21
タイマーモード	• タイマーの設定、計測	P.22
セットアップモード	• 携帯電話からの通知の報知時間、報知方法などの設定	Web サイト

参考

- モバイルリンク機能については、Web サイト【モバイルリンク機能編】をご覧ください。

時刻を合わせる

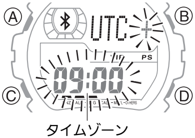
Bluetooth接続しているときは、携帯電話の日付・時刻に合わせせることができます（モバイルリンク機能）。
モバイルリンク機能をご使用にならない場合は、手動で時刻を合わせてください。

手動で時刻を合わせる

◆時刻と日付の合わせ方

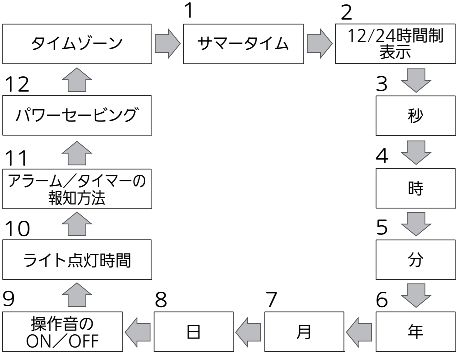
❶ 時刻モードで、Ⓐ ボタンを約 2 秒間押し続け、タイムゾーン設定画面に切り替えます。

［SET Hold］を表示し、タイムゾーンセット画面を表示します。



❷ Ⓒ ボタンを押して、設定する項目を選択します。

Ⓒ ボタンを押すごとに以下の順序で設定項目が切り替わります。



参考

- 上図の数字は、Ⓒ ボタンを押す回数を示しています。
- パワーセービングは、節電のためにモバイルリンク機能を制限する機能です。
詳しくは、Web サイト【モバイルリンク機能編】をご覧ください。

❸ Ⓑ または Ⓓ ボタンを押して、以下の設定を変更します。

画面	変更項目	操作
UTC + 09:00	ご使用になる都市のタイムゾーンの設定	Ⓑ または Ⓓ ボタンを押す
ON	サマータイムの ON/OFF 切り替え	Ⓓ ボタンを押す
12H	12時制(12H)と24時制(24H)の表示切り替え	Ⓓ ボタンを押す
50	秒を「00」にリセット ・30 ～ 59 秒の時は 1 分繰り上がります	Ⓓ ボタンを押す
P 10:58	「時」「分」の変更	Ⓑ または Ⓓ ボタンを押す
2013 6-30	「年」「月」「日」の変更	Ⓑ または Ⓓ ボタンを押す

参考

- 使用する都市のタイムゾーンは、都市名一覧表を参照してください。

  都市名一覧表…P.38
- サマータイムとは、DST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻（スタンダードタイム）から 1 時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの実施期間や実施地域は、国によって異なります。また、サマータイム制度を採用していない国や地域もあります。

  サマータイムを ON にすると、DST マークが点灯し、通常の時刻より 1 時間進みます。
- 日付の設定は、異なる月の長さや、うるう年にも対応しています（フルオートカレンダー）。

❹ Ⓐ ボタンを押すと設定を終了し、時刻モードに戻ります。

ワールドタイム

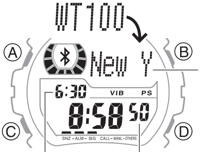
ワールドタイムモードは、世界 100 都市（35 タイムゾーン）の時刻を知ることができます。

他のタイムゾーンの時刻を見る

❶ 時刻モードで、Ⓒ ボタンを 2 回押すと、ワールドタイムモードに切り替わります。

モードの種類と切り替え…P.12

［WT100］を表示し、約 1 秒後に現在設定している都市名を表示します。



❷ Ⓑ または Ⓓ ボタンを押して都市名を選択します。

都市名一覧表…P.38

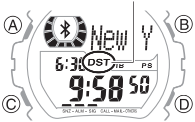
- 選択した都市の現在時刻を表示します。
- Ⓑ または Ⓓ ボタンを押し続けると早送りできます。
- 都市名を UTC（時差 0）にするときは、Ⓑ ボタンと Ⓓ ボタンを同時に押します。
- Ⓐ ボタンを押すと選択している都市名を最初から表示します。

❸ Ⓒ ボタンを 5 回押すと、時刻モードに戻ります。

サマータイム（DST）を設定する

● ワールドタイムモードで、Ⓐ ボタンを約 2 秒間押し続けます。

- ［DST Hold］を表示した後に［DST Hold］が消え、サマータイムの ON/OFF が切り替わります。
- 表示時刻がサマータイムのときは、DST マークが点灯します。



重要

- Bluetooth接続している場合でも、ワールドタイムのサマータイム（DST）ON/OFF は、手動で切り替えてください。

参考

- サマータイムとは、DST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻（スタンダードタイム）から 1 時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの実施期間や実施地域は、国によって異なります。また、サマータイム制度を採用していない国や地域もあります。
- サマータイムを ON にすると、DST マークが点灯し、通常の時刻より 1 時間進みます。
- ワールドタイム都市に UTC を設定した場合、サマータイム設定の切り替えはできません。
- サマータイム設定は、選択している都市のみ適用します。他の都市には影響しません。

アラーム・時報

アラームは 5 つの時刻を設定できます。設定した時刻になると 10 秒間電子音が鳴る、または時計を 10 秒間振動させてお知らせします。スヌーズアラームは、このアラーム音を 5 分おきに合計 7 回繰り返します。
毎正時（00 分）に電子音または振動でお知らせすることもできます。

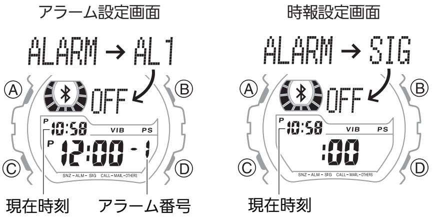
アラーム／タイマーの報知方法を切り替える…P.28

アラームモードを選ぶ

時刻モードで、Ⓒ ボタンを 3 回押すと、アラームモードに切り替わります。

モードの種類と切り替え…P.12

設定画面（アラーム 1 〜4、スヌーズアラーム、または時報設定）を表示します。

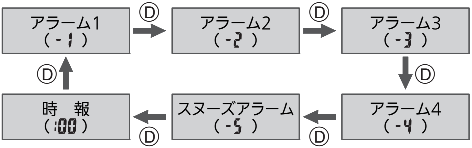


参考

- アラームモードのまま２〜３分間何も操作しないと、自動的に時刻モードに戻ります。

アラーム時刻を設定する

❶ アラームモードで Ⓓ ボタンを押し、設定するアラーム番号を選択します。



❷ Ⓑ ボタンを押し、各アラームまたは時報の ON/OFF を選択します。

アラーム1～アラーム4

OFF　：アラームは鳴りません。

1TIME：1 回だけ、設定した時刻にアラームが鳴り、翌日以降は鳴りません。

DAILY：毎日、設定した時刻にアラームが鳴ります。

時報

OFF　：時報は鳴りません。

ON　：毎正時（00 分）に時報が鳴ります。

スヌーズアラーム

OFF　：アラームは鳴りません。

1TIME：1 回だけ、設定した時刻から 5 分おきに、合計 7 回繰り返しアラームが鳴ります。

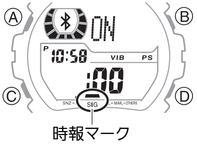
DAILY：毎日、設定した時刻から 5 分おきに、合計 7 回繰り返しアラームが鳴ります。

アラーム 1 からアラーム 4 を設定または時報をONにすると、アラームマークまたは時報マークが点灯します。

スヌーズアラームを設定すると、アラームマークとスヌーズマークが点灯します。

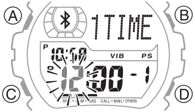
アラーム ON

時報 ON



❸ Ⓐ ボタンをアラーム時刻の「時」表示が点滅するまで（約 2 秒間）押し続けます。

[SET Hold] を表示した後に [SET Hold] が消え、「時」が点滅します。



❹ Ⓒ ボタンを押すごとに、「時」または「分」の選択が切り替わります。

選択している方が点滅します。

❺ Ⓑ または Ⓓ ボタンを押して「時」または「分」を設定します。

- Ⓑ または Ⓓ ボタンを押し続けると早送りできます。
- 12 時間制で表示している場合、午後は［P］を表示します。

❻ Ⓐ ボタンを押して設定を終了します。

❼ Ⓒ ボタンを 4 回押すと、時刻モードに戻ります。

電子音／振動を止める

● 時計画面の中心を指先で2回タップする、またはいずれかのボタンを押すと、電子音／振動が止まります。

参考

- スヌーズアラームの場合、7 回の繰り返しが終わるまで約 5 分ごとにアラーム音が鳴ります。
- スヌーズアラーム機能中（スヌーズマークが点滅）に以下の操作を行うと、点滅が終わり、スヌーズアラームが終了します。
  - スヌーズアラームを OFF に切り替えた
  - スヌーズアラームをセット状態にした
  - 時刻モードのセット状態にした

電子音／振動を確認する（モニターアラーム）

● アラームモードで Ⓓ ボタンを押し続けると、押している間、電子音／振動が確認できます。

ストップウオッチ

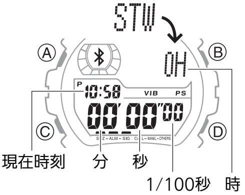
ストップウオッチは 1/100 秒単位で 999 時間 59 分 59.99 秒まで計測できます。計測範囲を超えた場合は、0 に戻って計測を続けます。

ストップウオッチモードを選ぶ

● 時刻モードで、Ⓒ ボタンを 4 回押すと、ストップウオッチモードに切り替わります。

モードの種類と切り替え…P.12

［STW］を表示し、約 1 秒後にストップウオッチ表示に切り替わります。



計測する

● ストップウオッチ計測のボタン操作は、以下の通りです。

- 通常計測／積算計測

Ⓓ → Ⓓ → Ⓓ → Ⓓ → Ⓑ

スタート　ストップ　（再スタート）（ストップ）　リセット

- スプリットタイム（途中経過時間）計測

Ⓓ → Ⓑ → Ⓑ → Ⓓ → Ⓑ

スタート　スプリット　スプリット解除　ストップ　リセット

計測中に Ⓑ ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります（［SPLIT］が点滅）。

参考

- 計測を開始後は、他のモードに切り替えたり、計測範囲を超えても Ⓓ ボタンを押すまで計測を継続します。
- スプリット計測中に他のモードへ切り替えると、スプリットが解除されて経過時間を表示します。

タイマー

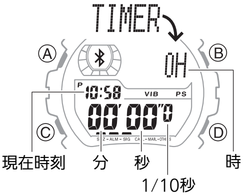
タイマーは 1 秒から 100 時間まで設定することができます。タイムアップになると 10 秒間電子音が鳴る、または時計を 10 秒間振動させてお知らせします。

アラーム／タイマーの報知方法を切り替える…P.28

タイマーモードを選ぶ

● **時刻モードで、Ⓒ ボタンを 5 回押すと、タイマーモードに切り替わります。**

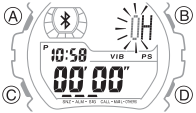
モードの種類と切り替え…P.12



計測時間を設定する

❶ **タイマーモードで、Ⓐ ボタンを約 2 秒間押し続けます。**

[SET Hold] を表示した後に [SET Hold] が消え、「時」が点滅します。



参考

- タイマー計測中は、 Ⓓ ボタンを押して計測を停止し、次に Ⓑ ボタンを押して計測時間をリセットしてください。
- タイマー計測が一時停止している場合は、 Ⓑ ボタンを押して計測時間をリセットしてください。

❷ **Ⓒ ボタンを押すごとに「時」、「分」、または「秒」の選択が切り替わります。**

選択している方が点滅します。

❸ Ⓑ または Ⓓ ボタンを押して「時」、「分」、または「秒」を設定します。

- Ⓑ または Ⓓ ボタンを押し続けると早送りできます。
- 計測時間を 100 時間に設定するときは、タイマー表示を 0H 00'00" にしてください。

❹ Ⓐ ボタンを押して設定を終了します。

計測する

● タイマー計測のボタン操作は、以下の通りです。

Ⓓ	→	Ⓓ	→	Ⓓ	→	Ⓓ	→	Ⓑ
スタート		ストップ		（再スタート）		（ストップ）		リセット

参考

- タイムアップになると電子音／振動が 10 秒間鳴り、画面が計測前の状態に切り替わります。
- 他のモードに切り替えてもタイマー計測は継続し、電子音／振動による報知もします。

電子音／振動を止める

● 時計画面の中心を指先で2回タップする、またはいずれかのボタンを押すと、電子音／振動が止まります。

ライト

暗いところで時計の表示を見るときに、ライトを点灯させて画面を明るくすることができます。また、時計の傾きによってライトを点灯させるオートライト機能を設定できます。

ライトを点灯させる

● Ⓛ ボタンを押すとライトが点灯します。

参考

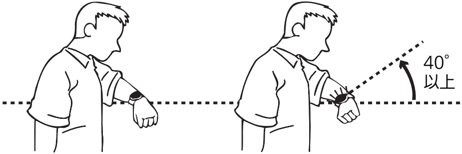
- ライト点灯中にアラームや着信通知などの報知があった場合は、消灯します。

◆ライト使用に関する注意事項

ライトを頻繁に使用すると電池の寿命が短くなります。

自動的に点灯させる（オートライト）

オートライト機能が ON のとき、時計を 40° 以上傾けるとライトが点灯します。



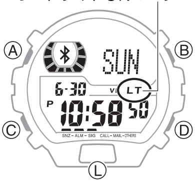
参考

- アラーム音が鳴っているときは、オートライト機能は作動しません。

◆オートライトの ON/OFF 設定

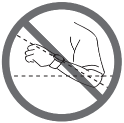
● 時刻モードで、Ⓛ ボタンを 3 秒以上押し続けて、オートライト機能の ON/OFF を切り替えます。

オートライト ON のときは［LT］を表示します。



◆オートライトに関する注意事項

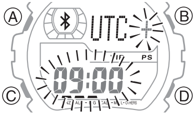
- 以下の図のように、時計が水平状態から 15 度以上傾いていると、点灯しにくくなります。



- オートライトを ON にすると、ライトが頻繁に点灯して電池寿命が短くなります。
- 静電気や磁気の影響でオートライトが作動しないことがあります。その場合、もう一度時計を水平状態にしてから傾けてください。
- 時計を傾けたとき、内部から「カラカラ」と音がする場合があります。これは、オートライトスイッチの作動音で、故障ではありません。
- オートライトが作動するのは、オートライト ON にしてから約 6 時間です。それ以降は自動的にオートライト OFF になります。

ライトの点灯時間を変更する

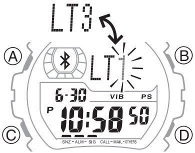
❶ 時刻モードで、Ⓐ ボタンを約 2 秒間押し続け、タイムゾーンセット画面に切り替えます。



❷ Ⓒ ボタンを 10 回押し、ライト点灯時間設定画面に切り替えます。

手動で時刻を合わせる…P.14

画面に［LT1］または［LT3］を表示します。



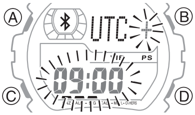
❸ Ⓓ ボタンを押して、［LT1］（1.5 秒間点灯）または［LT3］（3 秒間点灯）を選択します。

❹ Ⓐ ボタンを押して時刻モードに戻します。

ボタンを押したときに鳴る操作音は、ON/OFF の切り替えができます。
また、アラーム／タイマーの報知方法は、音か振動のどちらかに切り替えができます。

ボタン操作音の ON/OFF を切り替える

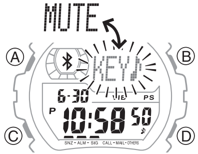
❶ 時刻モードで、Ⓐ ボタンを約 2 秒間押し続け、タイムゾーンセット画面に切り替えます。



❷ Ⓒ ボタンを 9 回押して、操作音設定画面に切り替えます。

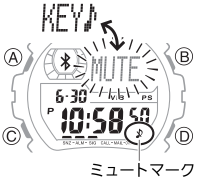
手動で時刻を合わせる…P.14

画面に［KEY♪］または［MUTE］を表示します。



❸ Ⓓ ボタンを押して、［KEY♪］（ON）または［MUTE］（OFF）を選択します。

［MUTE］（OFF）にするとミュートマークが点灯し、操作音は鳴らなくなります。



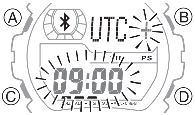
❹ Ⓐ ボタンを押して時刻モードに戻します。

参考

- 操作音の設定が OFF の場合でも、アラーム音、時報、タイムアップ音などは鳴ります。

アラーム／タイマーの報知方法を切り替える

❶ 時刻モードで、Ⓐ ボタンを約 2 秒間押し続け、タイムゾーンセット画面に切り替えます。



❷ Ⓒ ボタンを 11 回押して、報知方法設定画面に切り替えます。

手動で時刻を合わせる…P.14

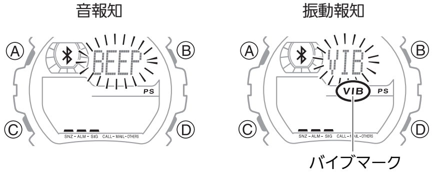
画面に［VIB］または［BEEP］を表示します。

❸ Ⓓ ボタンを押して、［VIB］または［BEEP］を選択します。

［VIB］を選択すると、バイブマークが点灯します。

VIB ：振動でお知らせします。

BEEP ：音でお知らせします。



❹ Ⓐ ボタンを押して時刻モードに戻します。

電池の交換時期

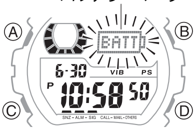
電池の電圧が低下すると、バッテリーマークを画面に表示します。バッテリーマークが表示されると使用できる機能が制限されます。常にバッテリーマークが表示される場合は、電池を交換してください。

参考

- 電池寿命の目安および使用電池は「製品仕様」を参照してください。

製品仕様…P.30

バッテリーマークが表示されると以下の状態になります。



- 時刻モードに切り替わります。
- Bluetooth接続が切れ、モバイルリンク機能が使用できなくなります。
- ライトが点灯しません。
- 電子音／振動によるお知らせができません。
- ダブルタップ操作ができません。

参考

- モバイルリンク機能、ライト、電子音／振動による報知などを短時間に連続使用すると、電池の電圧低下を防ぐため、バッテリーマークを表示して一時的に機能を制限します。

製品仕様

精度：平均月差±15秒

基本機能：時・分・秒、午前／午後（P）、12/24 時間制表示、月・日・曜日、フルオートカレンダー（2000 ～ 2099 年）、サマータイム設定

ワールドタイム機能：世界100都市（35タイムゾーン）＋UTC（協定世界時）の時刻を表示、サマータイム設定

アラーム機能：時刻アラーム
　アラーム数＝5本（うち、スヌーズ1本）
　セット単位＝時・分
　電子音または振動＝ 10 秒間
時報
　毎正時に電子音または振動で報知

ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒
計測範囲＝999時間59分59秒99（1000時間計）
計測精度＝±0.0006%
計測機能＝通常計測、積算計測、スプリット計測

タイマー機能：計測単位＝1/10秒
計測範囲＝100時間
計測精度＝±0.0006%
セット単位＝1秒
タイムアップ時＝10秒間の電子音または振動で報知

モバイルリンク機能：時刻修正機能
　自動修正／手動修正
報知機能
　電話着信／メール受信／SNS受信やカレンダー通知などを電子音や振動で報知
　Information表示（最終受信情報1件）
携帯探索機能
　時計操作により、携帯電話の音を鳴らす
通信仕様
　Bluetooth® v4.0（Bluetooth® low energy technology対応）
　通信レート＝1Mbps
　送信出力＝0dBm（1mW）
　通信距離＝～2m（環境により変化）
　暗号化方法＝128bit AES

その他：電池切れ予告機能、自動復帰機能、パワーセービング、振動による報知、タップ機能、高輝度LEDライト、オートライト、ライト点灯時間切り替え、操作音ON/OFF切り替え

使用電池：CR2032　1個（電池別途販売）

電池寿命：約2年

使用条件

・モバイルリンク機能を1日あたり12時間使用
・コントロール機能を1日あたり2時間使用
・電話着信通知の報知：3回（音と振動で5秒）／日
・メール受信通知／その他通知の報知：10回（音のみで5秒）／日
・ライト：1回（1.5秒）／日
・アラーム：1回（音のみで10秒）／日

ご使用条件によっては、電池寿命が短くなることがあります。

ご使用上の注意

■防水性

● 防水時計は時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

		日常生活用防水	日常生活用強化防水		
			5 気圧防水	10 気圧防水	20 気圧防水
表示	時計の表面または裏ぶたに表記	「BAR」表記無し	5BAR	10BAR	20BAR
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

- 専門的な潜水＝スキューバダイビング（空気ボンベ使用）でのご使用はお避けください。

● 時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

● 防水構造の機種でも、以下のご使用はお避けください。
防水性能の低下や、ガラスの内側が曇る原因になります。

- 「水中で」および「時計に水分がついた状態で」りゅうずやボタンを操作すること
- 入浴のときに使用すること
- 温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用すること
- 時計を手につけたまま手洗い／洗顔／家事などをするときに、石鹸や洗剤を使うこと

● 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。

● 防水性を保つために定期的（2 ～ 3 年を目安）なパッキン交換をおすすめします。

● 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ずお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください（特殊な工具を必要とします）。

● 防水時計の一部にデザイン上、皮革バンドを使用しているモデルがありますが、皮革バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

● 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。
夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れた場合など、外気と時計内部の温度差が大きくなることによって曇る時間が長くなることがあります。
なお、曇りが消えなかったり、時計内部に水が残っている場合は、ただちにご使用をやめて、修理をお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。

■バンド

● バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

●バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。

●バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理（有償）や新しいバンドとの交換を、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。

■温度

●自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また､寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。

●＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や＋40℃以上では、表示が見えにくくなることがあります。

■ショック

●通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが､落としたり､強くぶつけたりすると､故障の原因になります。
ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-ms）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■磁気

●通常、磁気の影響はありませんが、極度に強い磁気（医療機器など）は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

■静電気

●静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。

●静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

■薬品類

●シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■樹脂部品について

●長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたままにしないでください。

- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。
- スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

■皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに柔らかい布などで軽く拭いて、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。

  ご注意：皮革バンドは、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■金属部品について

- 金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。
- ときどき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。

■抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性の良い柔らかい布で拭き取り、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなることがあります。

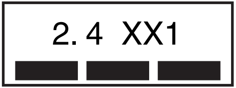
万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

無線に関するご注意

- ● 本機は、電波法に基づいて工事設計認証を受けていますので、無線局の免許は不要です。
- ● 本機は、工事設計認証を受けていますので以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
  - 分解および改造すること
- ● 無線 LAN は、本機と同じ周波数帯（2.4GHz）を使用しています。これらを利用した製品と本機との間で、互いに電波障害を与えることがあります。
- ● 下記のような環境では、電波状態が悪くなったり、電波が届かなくなったりします。
  - 電子レンジ等の磁場、静電気、不要輻射電波の発生する機器の近く
  - 鉄筋コンクリート（マンションなど）や鉄骨構造の建物内
  - 大型金属製家具の近く
  - 各無線機器の間に人が入ったり、間を人が横切るとき、腕を組んだりしたとき
  - 腕時計と携帯電話等が別々の部屋にある場合（障害物がある場合）
- ● 電波を使用している関係上、第三者が故意または偶然に傍受することも考えられます。機密を要する重要な事柄や人命に関わることには使用しないでください。

< 以下、ARIB（一般社団法人 電波産業会）に準ずる >

- ● 本機は 2.4GHz 帯を使用し、変調方式は DS-SS/FH-SS/OFDM 方式、DS-FH、FH-OFDM 複合方式以外の“その他の方式”です。また、想定される与干渉距離は約 10m です。



- ● 本機の使用周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局との間で、電波干渉が発生した場合には、速やかに通信チャンネルを変更するか、使用する場所を変えるか、本機の使用を停止してください。
3. 不明な点がある場合やお困りの場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

時計も衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- ●海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- ●金属バンドおよび樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。
- ●樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- ●皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- ●りゅうずやボタンや回転ベゼルは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、りゅうずや回転ベゼルを回したり、ボタンを押したりしてください。

■お手入れを怠ると

〈さび〉

- ●時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
  - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- ●さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理（有償）をお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。
- ●表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- ●樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- ●皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

● 電池交換は必ずお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。

● 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

● 電池交換の際、防水検査を行います。

● 樹脂（外装）部品は日々のご使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。電池交換ご依頼品の樹脂部分にひびなどの異常がある場合、破損の恐れがありますので作業を行わずにご返却する旨のご案内をさせていただくことがございます。あらかじめご了承ください。

■最初の電池

● お買い上げの時計に組み込まれている電池（モニター用電池）は、工場出荷時点に時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。

● お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

■電池の消耗

● 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。

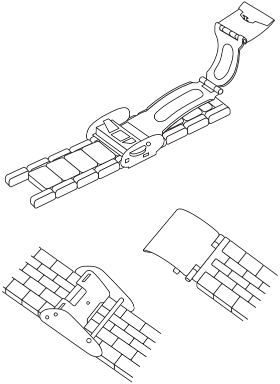
● 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンド（フリータイプの中留構造バンド※を除く）の駒詰めには専用の工具が必要となります。
お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。
なお、「持込修理サービス受付窓口」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。
詳しくは、「持込修理サービス受付窓口」または「修理に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

※ 中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

（例）



都市名一覧表

都市名		タイムゾーン
(UTC)	(協定世界時)	
Reykjavik	レイキャヴィーク	
Lisbon	リスボン	0
Casablanca	カサブランカ	
London	ロンドン	
Madrid	マドリード	
Paris	パリ	
Algiers	アルジェ	
Brussels	ブリュッセル	
Amsterdam	アムステルダム	
Zurich	チューリッヒ	＋1
Frankfurt	フランクフルト	
Oslo	オスロ	
Rome	ローマ	
Copenhagen	コペンハーゲン	
Berlin	ベルリン	

都市名		タイムゾーン
Stockholm	ストックホルム	
Budapest	ブダペスト	＋1
Warsaw	ワルシャワ	
Cape Town	ケープタウン	
Sofia	ソフィア	
Athens	アテネ	
Helsinki	ヘルシンキ	＋2
Istanbul	イスタンブル	
Kyiv	キエフ	
Cairo	カイロ	
Jerusalem	エルサレム	
Moscow*	モスクワ	
Addis Ababa	アディスアベバ	＋3
Jeddah	ジェッダ	
Tehran	テヘラン	＋3.5
Dubai	ドバイ	＋4

都市名		タイムゾーン
Kabul	カブール	＋4.5
Karachi	カラチ	＋5
Delhi	デリー	＋5.5
Kathmandu	カトマンズ	＋5.75
Novosibirsk*	ノヴォシビルスク	＋6
Dhaka	ダッカ	
Yangon	ヤンゴン	＋6.5
Bangkok	バンコク	＋7
Hanoi	ハノイ	
Jakarta	ジャカルタ	
Kuala Lumpur	クアラルンプール	＋8
Singapore	シンガポール	
Hong Kong	香港	
Perth	パース	
Beijing	北京	
Manila	マニラ	

都市名		タイムゾーン
Shanghai	上海	＋8
Taipei	台北	
Seoul	ソウル	＋9
Tokyo	東京	
Adelaide	アデレード	＋9.5
Vladivostok*	ウラジオストク	＋10
Guam	グアム	
Sydney	シドニー	
Noumea	ヌーメア	＋11
Wellington	ウェリントン	＋12
Suva	スバ	
Chatham Islands	チャタム諸島	＋12.75
Nukualofa	ヌクアロファ	＋13
Kiritimati	キリスィマスィ島	＋14
Pago Pago	パゴパゴ	－11
Honolulu	ホノルル	－10

都市名		タイムゾーン
Anchorage	アンカレジ	－9
Vancouver	バンクーバー	－8
San Francisco	サンフランシスコ	
Seattle	シアトル	
Los Angeles	ロサンゼルス	
Tijuana	ティフアナ	
Edmonton	エドモントン	－7
Phoenix	フェニックス	
Chihuahua	チワワ	
Denver	デンバー	
Mexico City	メキシコシティー	－6
Winnipeg	ウィニペグ	
Dallas	ダラス	
Houston	ヒューストン	
Guatemala City	グアテマラシティ	
Chicago	シカゴ	

都市名		タイムゾーン
Atlanta	アトランタ	－5
Havana	ハバナ	
Toronto	トロント	
Lima	リマ	
Washington DC	ワシントン DC	
Kingston	キングストン	
Philadelphia	フィラデルフィア	
Bogota	ボゴタ	
New York	ニューヨーク	
Boston	ボストン	
Caracas	カラカス	－4.5
Santiago	サンティアゴ	－4
La Paz	ラパス	
San Juan	サンフアン	
Halifax	ハリファックス	
St.John's	セントジョンズ	－3.5

都市名		タイムゾーン
Buenos Aires	ブエノスアイレス	－3
Montevideo	モンテビデオ	
Rio de Janeiro	リオデジャネイロ	
Fernando de Noronha	フェルナンド・デ・ノローニャ	－2
Praia	プライア	－1

* 2012 年 6 月現在、下記の都市の時差がプラス 1 時間変更になっていますが、本機では対応しておりません。サマータイム設定を ON にして、1 時間進めてご使用ください。

Moscow（モスクワ）
Novosibirsk（ノヴォシビルスク）
Vladivostok（ウラジオストク）

参考

- この表は、本機の都市名一覧表です。
- 設定する都市名がわからないときは、使用場所のタイムゾーンを確認し、タイムゾーンが一致する都市名を選択してください。
- この表のタイムゾーンは、協定世界時（UTC）を基準としたものです。